

第14次 実施計画シート兼初期診断書(継続用)

事務事業の概要	事務事業名	事業所ごみ減量化推進事業		整理No.	9	
	担当課	リサイクル推進課	事業別	<input checked="" type="checkbox"/> 非建設事業 <input type="checkbox"/> 建設事業	作成年度	平成20年度
	体系	大-中-小	I-4-(1)適正なごみの処理			
	施策のあらまし	② ごみの減量化・再資源化の推進		ページ	39	
	マニフェスト	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
	実施期間	平成18年度～平成21年度(4年間)				
根拠法令要綱等	名称	廃棄物処理		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	
	市の実施義務	<input type="checkbox"/> 義務規定 <input checked="" type="checkbox"/> 努力規定 <input type="checkbox"/> 任意規定 <input type="checkbox"/> その他()				
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他()					

目的(何のために)	年々増え続ける事業所のごみ減量化を図るため、事業所へ「事業所ごみ減量化推進指導員」が直接訪問し指導することで、ごみ減量化の意識向上、リサイクルへの協力などの啓蒙を図り、事業所ごみの減量化を推進する。	対象(何・誰を対象に)	市内全域の事業所
手段(どのような事業を実施して)	直接訪問することで、アンケートによる実態調査やヒアリングや市の取り組み等を紹介しながら、ごみ減量化を推進する。また、古紙回収業者の協力を得て事業所の戸別回収を実施し、その依頼件数を増やしてごみ減量を図る。	成果(どのような成果を期待するか)	「事業所ごみ減量化推進指導員」の直接訪問指導により、ごみ量の約3割を占める事業所ごみの減量化を図るため、前年度比で10%削減したごみ排出量を目標とする。

事業環境	筑紫地区等近隣自治体との比較(実施状況、サービス水準の平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 同程度 <input type="checkbox"/> 低い	事業所系一般廃棄物は事業所自ら適正に処理するように廃掃法に規定されているが、近隣市町村と同様に、本市における事業系ごみの排出量が増え続けている。
他課等の関連事業	課名 事業名		

視点別評価	評価項目	1次		2次	
		選択理由、特記事項等	選択理由、特記事項等	選択理由、特記事項等	選択理由、特記事項等
市関与の妥当性	①市民等のニーズ	2	ごみ減量化の推進	2	ごみ処理基本計画に基づいたごみ減量について、ポイントを絞った事業を進められている。
	②法的な義務性	2		2	
	③代替性	3		3	
合計(9点中)		7		7	
手段・内容の適切さ	①担い手の妥当性	3	事業所の実態を把握し適切に指導できる。	2	実施計画事業の目的は計画的に進んでいることから、次のステップに向けた事業を新たに構築する時期となっている。
	②受益者負担	1		1	
	③効率性	2		2	
合計(9点中)		6		5	
有効性	①目的の達成状況	3	適正な排出方法を知らない中小事業所も多いため、業種による適切な指導は、ごみ減量に有効である。	2	巡回指導が一巡することから、二巡目のあり方について見直しを検討することが必要である。事業所の協力に対しては、収集料金の減額や、リサイクル協力店の表示など、事業所のイメージアップにつながる施策も検討が必要である。
	②成果の状況	2		2	
	③上位施策への貢献度	3		3	
合計(9点中)		8		7	

診断結果	担当課長所見
<input type="checkbox"/> 拡大・重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続する <input type="checkbox"/> 統合する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 縮小する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 廃止・休止する <input type="checkbox"/> 終了	本事業を始めて、事業所を直接訪問指導することで、事業所のごみ減量・リサイクルへの意識が次第に浸透しつつある。 また、具体的な古紙類の分別回収において成果がある程度表れている状況下、今後も事業所の“ごみ減量・リサイクル”への取り組みが充分機能するように、この事業を足掛りとして循環型社会システムが構築できるように更なる施策を考えていきたい。
改善点及び改善を実現するための条件	

診断結果	診断理由等	事業費	人員
<input type="checkbox"/> 拡大・重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続する <input type="checkbox"/> 統合する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 縮小する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 廃止・休止する <input checked="" type="checkbox"/> 終了	市内事業所の巡回指導が平成21年度で終了することから、協力している事業所に対する「協力店表示、表彰制度等」を導入するなど、他のソフト施策も講じながら、平成22年度からの2巡目以降は事業費及び人員の削減が必要である。その際、これまでの取り組みの状況や成果・問題点を十分に検証の上、より効果的な事業内容に変更することが重要である。 なお、巡回指導員には、再任用職員の活用も有効である。	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> なし